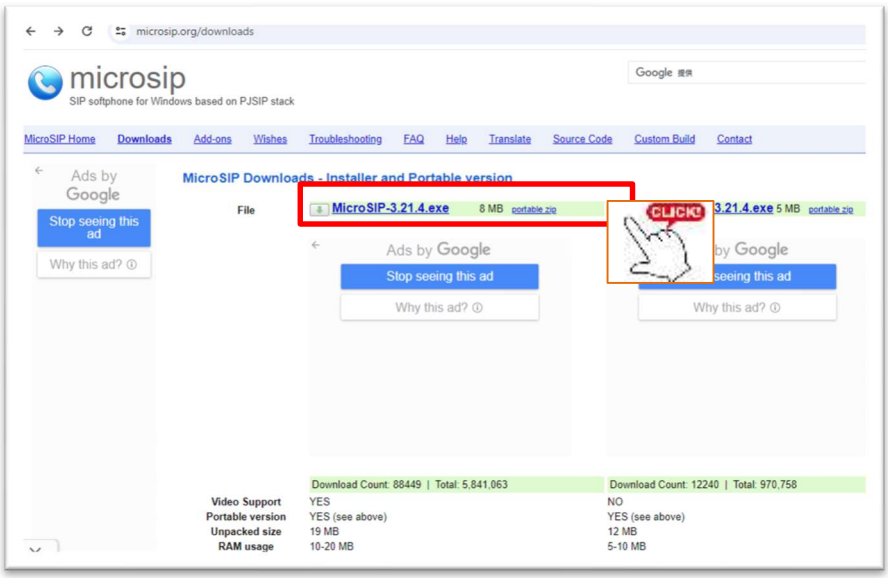
Microsip 設定マニュアル

2026/11 版

1. Microsip をダウンロード

http://www.microsip.org/downloads

【MicroSIP】と【MicroSIP Lite】が DL できます。
（今回は【MicroSIP】を選択して、ＤＬしたファイルを実行させます。）



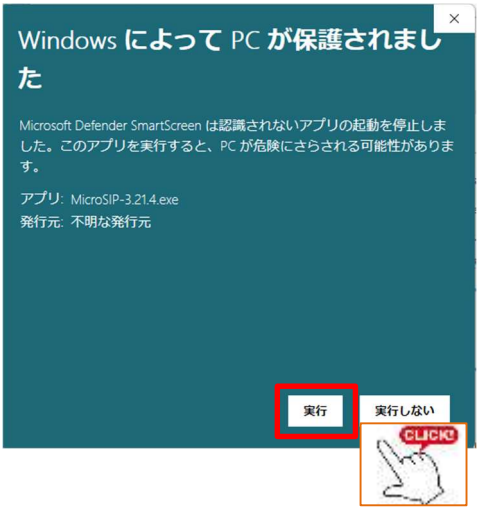
2. Microsip をインストール

ダウンロードファイルを実行を行いセットアップを行います。

①　「詳細情報」をクリックして、実行ボタンをクリックします。

※ＯＳによっては、表示されないケースもあります。

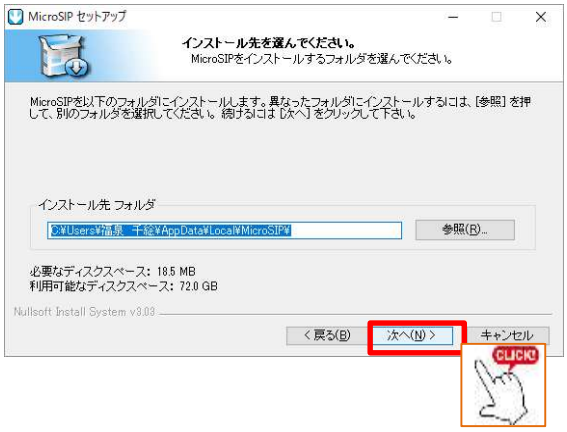


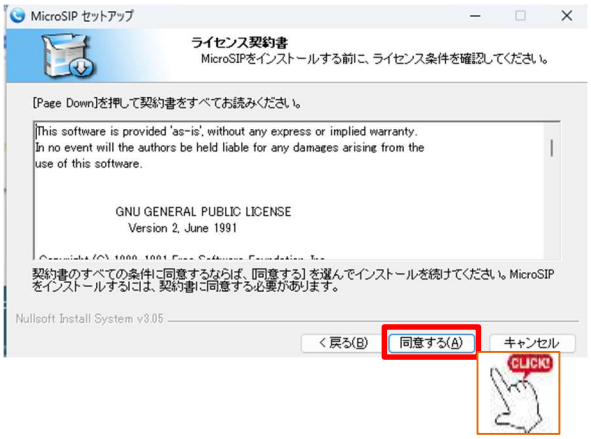


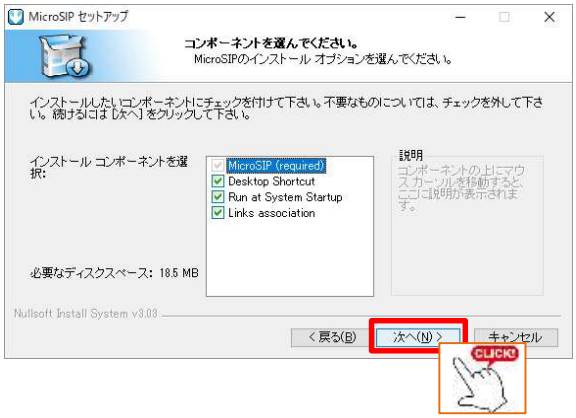
②インストール時の言語選択をして「OK」をクリックします。

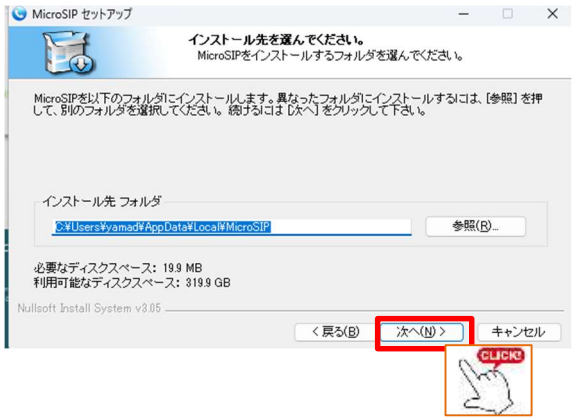


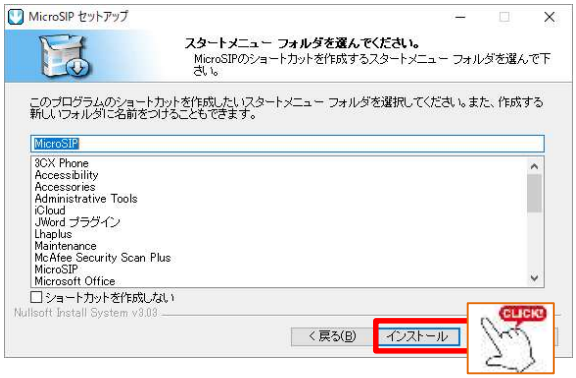
③セットアップウィザード画面で、「次へ」「同意する」「インストール」をクリックして進めます。

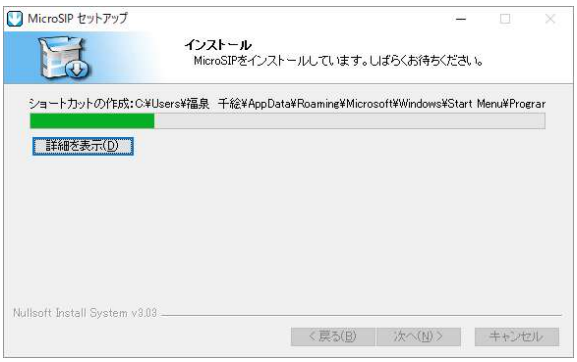












④セットアップウィザード画面の最後の画面で、「完了」をクリックして終了ですが、
アクセス許可の画面が表示されたら、「許可」をクリックします。





3. アカウント設定

① 起動した MicroSIP の右上▼マークを押す
② 表示されたメニュー内「アカウント追加」選択





③　各設定項目に以下を入力として保存をクリックします。



それぞれの箇所に
入力します。

［ＲＳｕｉｔｅの画面］



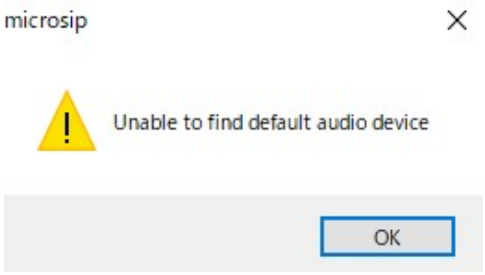
登録には、以下の４つ情報が必要となります。
この情報が漏洩しないようにご注意ください。
①　ＳＩＰサーバーアドレス　②内線番号　③ＳＩＰＩＤ　④ＳＩＰＰＷ

④　設定後キーパッド画面に戻り左下の【オンライン】表示を確認しアカウント設定完了



※デバイスのスピーカーとマイクの設定が有効になっていない場合、【オンライン】と表示が出ていても発着信は出来ません

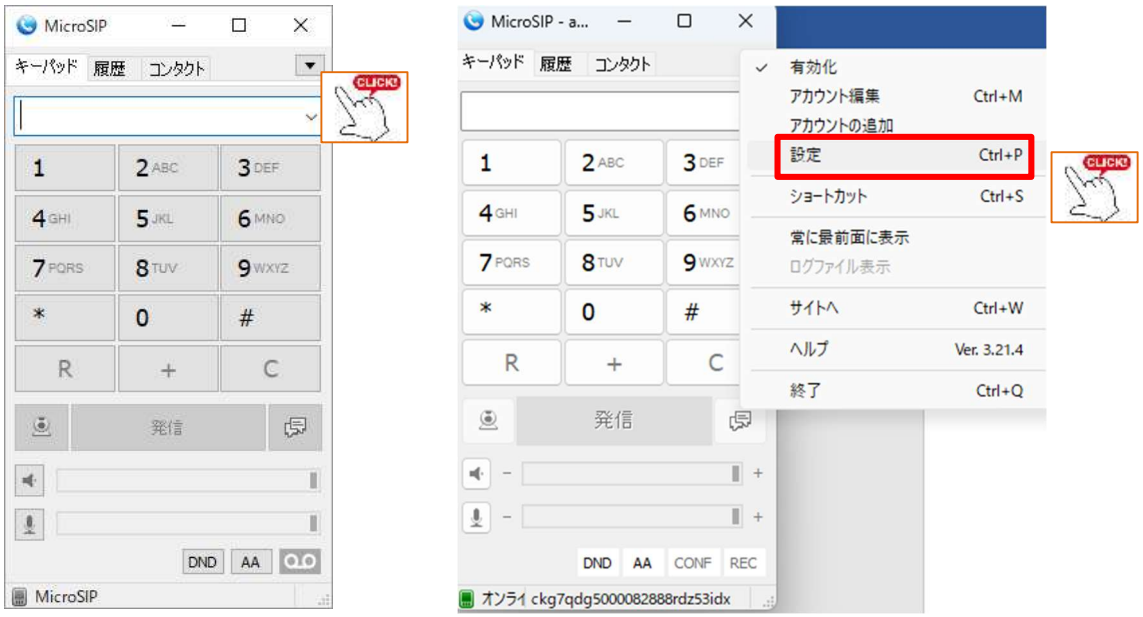
※スピーカーとマイクが無効の状態で発信をした際右のエラー表示が出る



4.　設定

① 起動した MicroSIP の右上▼マークを押す

② 表示されたメニュー内「設定」選択



③ ＳＴＵＮサーバーに「**stun.l.google.com:19302**」を入力して✓を入れておきます。

④ ソースポートに、「15060」を入力しておきます。、

⑤ 「呼出音再生」「スピーカー」「マイク」は、「デフォルト」の場合、windows の設定に依存してしまいますので、ヘッドセットのデバイスの指定をお勧めします。

⑥ 「更新」の確認や、システム起動時に実行は、お客様の運用にお任せします。

⑦ 「保存を」をクリックして完了です。



5. 発信テスト

番号未入力時は発信ボタン無効



入力後発信ボタンが有効になる



「呼び出し中」…コール音なし



「呼出中」に切り替わりコール音が鳴る



通話中は画面下のスピーカーとマイクのゲージが反応する

スピーカーマークを押す→消音

マイクマークを押す→ミュート

の動作が可能



--その他機能--

① 保留…保留音が鳴る

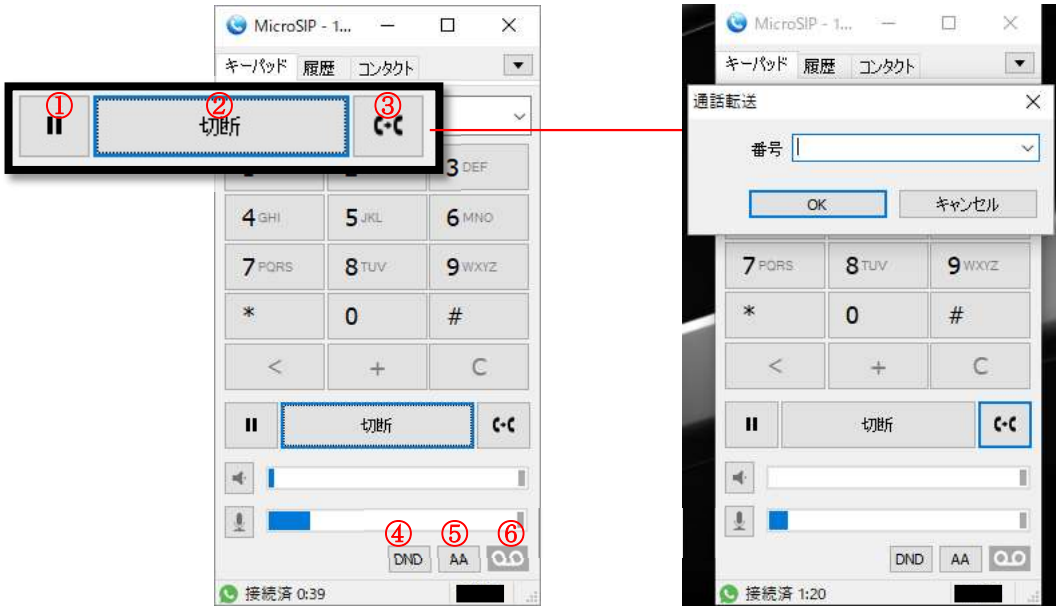
② 切断…通話切断

③ 転送…内線番号入力し通話を転送 ※ブラインド転送

④ 応答不可

⑤ 自動応答

⑥ ボイスメール番号

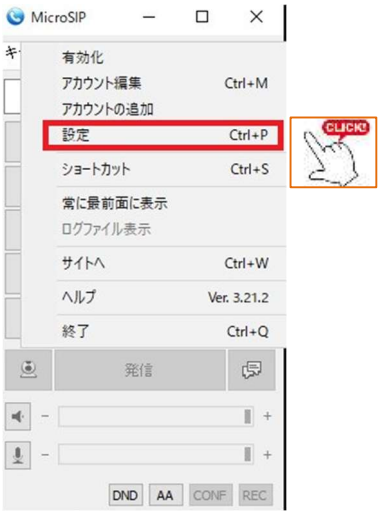


6.　補足　アテンド転送（仲介転送・保留転送方法）

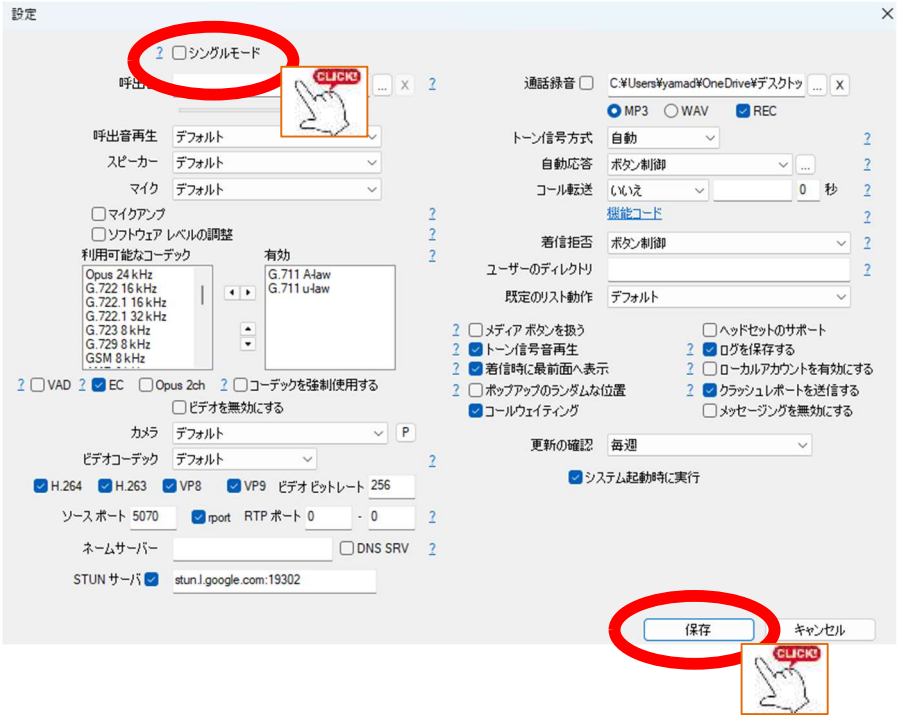
アテンド転送は、転送先の方と会話を行った後、転送が実施できるものです。
通話履歴には、２行で表示されますのでご注意ください。

■事前設定

① メイン画面右上の「▼」アイコンをクリックし「設定」を選択します



② 開きました設定画面で「シングルモード」のチェックマークを外し、保存を押してください



■実際の操作手順

① 通話を応答します



② サブ画面の保留ボタンを押します



③ メイン画面から転送する相手の内線番号を入力し発信します



④ 要件を伝え、サブ画面の転送ボタンを押し、仲介転送右の通話相手をクリックします。



⑤ 通話が終了して、通話相手と転送先の通話が始まります。

※転送先を呼び出したが、電話に出ない場合

1.サブ画面で、切断をクリックして、転送先との電話を切って下さい。



2.次に、通話相手の番号をクリックする事で、保留が解除され、
通話相手と通話が引き続き行えます。。



7. 補足 着信時に特定の URL を表示する（WEB 連携設定）

MicroSIP が着信した際、あらかじめ指定した WEB サイトや CRM システム（顧客管理画面など）を自動的にブラウザで開く（ポップアップ表示させる）設定方法です。

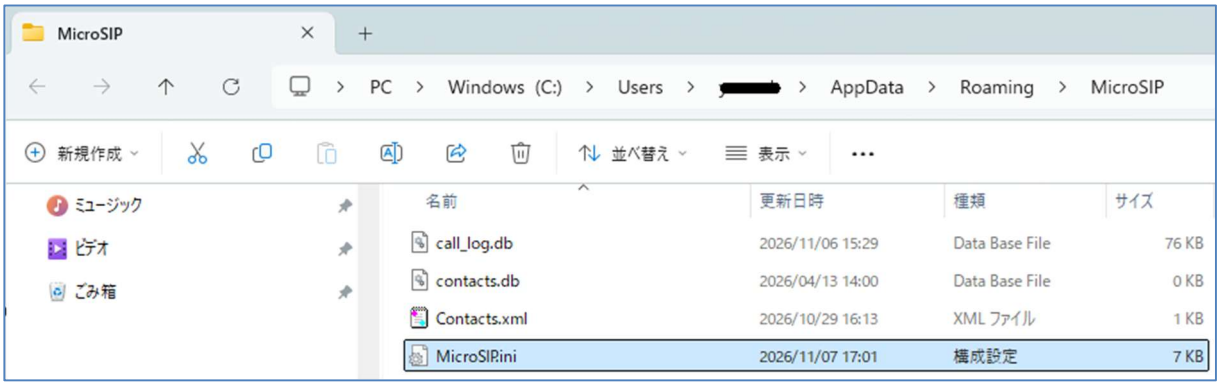
■設定手順

① MicroSIP を完全に終了します。

- メイン画面の右上「▼」マークから「終了」を選択するか、タスクバーのアイコンから終了してください。
- ※MicroSIP が起動したままだと、INI ファイルを書き換えても上書き保存されて元に戻ってしまいます。

② microsip.ini ファイルを探して開きます。

- **ファイルの場所（インストール版の場合）：**
  C:¥Users¥（ユーザー名）¥AppData¥Roaming¥MicroSIP¥microsip.ini
  (※AppData フォルダが表示されない場合は、エクスプローラーのアドレスバーに %appdata%¥MicroSIP と入力してエンターキーを押すと直接開けます。)



- 対象のファイルをメモ帳などのテキストエディタで開きます。



③ 目的に応じて、以下の設定箇所（キー名）に URL を入力します。

ファイル内を検索（Ctrl＋F）し、該当の項目を見つけて ＝ の後ろに表示させたい URL を入力してください。

【コール中（着信時）に URL を開く場合】cmdIncomingCall=“”

【通話開始時（応答した瞬間）に URL を開く場合】cmdCallAnswer=“”

【コール後（通話終了時）に URL を開く場合】cmdCallEnd=“”

■電話が繋がった瞬間に Google で電話番号を自動検索したい場合は以下のように設定します。

cmdCallAnswer=*"rundll32 url.dll,FileProtocolHandler https://google.com/search?q="*

【設定イメージ】

```
cmdIncomingCall=""
cmdCallRing=""
cmdCallAnswer="rundll32 url.dll,FileProtocolHandler https://google.com/search?q="
cmdCallAnswerVideo=""
cmdCallBusy=""
```

💡ブラウザを呼び出すコマンド

「rundll32 url.dll,FileProtocolHandler」は、Windows が標準の Web ブラウザ（Chrome や Edge など）を呼び出して、特定の URL を自動で開くためのシステム用コマンドです。

【コマンドの基本構文（仕組み）】

コマンドは以下の 3 つの要素が組み合わさっています。間のスペースを消さないように注意してください。
rundll32 [半角スペース] url.dll,FileProtocolHandler [半角スペース] [表示させたい URL]

💡 電話番号を自動で引き継ぐためのルール

MicroSIP の仕様により、指定した URL の一番末尾に自動的に相手の電話番号が結合されて実行されます。そのため、URL の末尾は「?q=」や「?tel=」のように、検索パラメータのイコール（=）で終わる形で記載してください。

💡CRM クラウドを呼び出す場合の例

例①：キントーンの場合

"rundll32 url.dll,FileProtocolHandler https://【自社のドメイン名】/k/search?keyword="

例②：つながりクラウドの場合

"rundll32 url.dll,FileProtocolHandler https://【自社のドメイン名】/incoming-call?tel="

※【自社のドメイン名】の部分をご自身の環境に合わせて書き換えてください。

※ログイン済みの必要がございます。

外部サービスの仕様変更により、URL の形式が今後変わる場合がございます。

④ 変更後、ファイルを上書き保存し、MicroSIP を再起動すれば設定完了です。